

# 陽性の入所者が高齢者施設内で療養する場合の対応について

塩釜保健所（令和4年12月）

現在、新型コロナウイルス感染症患者の急増に伴い、高齢者施設で、入所者の陽性が確認された場合には、基本的に施設内での療養をお願いしております。

施設内での療養をお願いする場合には、陽性の入所者の施設での健康観察を依頼させていただきますので、ご協力をお願いします。

## 1. 陽性者の健康観察

- 全身状態（食欲等）、咳、呼吸困難などに着目して健康観察を行って記録してください。
- 体温、パルスオキシメーターによる SpO<sub>2</sub> の測定をしてください。
- 中等症Ⅱ（酸素投与が必要な状況 SpO<sub>2</sub> 90～93%）に該当するか等の健康観察を行ってください。

### パルスオキシメーター測定のチェックポイント

- 血流の多い部位ですか？ → 暖かい指に変えます。冷たい時にはあたためる。
- 脈の拍動は検出していますか？ → 再度装着します。駄目なら他の指に。

## 2 状態悪化時の対応

状態が悪化した場合には、施設の医師、嘱託医、主治医等にご相談の上、入院が必要と判断した場合には、保健所へご相談ください。

**緊急性の高い症状** ※は職員等が以下の項目を確認した場合

**表情・外見**：顔色が明らかに悪い※、唇が紫色になっている、いつもと違う・様子がおかしい※  
**息苦しさ等**：息が荒くなった（呼吸数が多くなった）/急に息苦しくなった/生活をしていて少し動くと息苦しい/胸の痛みがある、横になれない。/座らないと息ができない、肩で息をしている/突然（2時間以内を目安）ゼーゼーしはじめた  
**意識障害等**：ぼんやりしている（反応が弱い）※/もうろうとしている（返事がない）※/脈がとぶ、脈のリズムが乱れる感じがする

## 3 療養中の治療について

施設内にて医学的対応が可能な場合は、施設の医師、主治医の指示により治療を開始してください。

- 新型コロナの治療薬（点滴、内服薬）の投与
- SpO<sub>2</sub>の低下があった場合の酸素投与
- 脱水等への補液

#### 4 陽性者の療養期間

陽性者の療養解除については 保健所が判断します。基本的な考えは以下のとおりです。

- 無症状であれば、検体採取日の翌日を1日目として、7日間の療養期間とし8日目に療養解除。
- 症状がある方は、発症日の翌日を1日目として、10日間の療養かつ、症状軽快72時間後に療養解除。
- 無症状であった方が、経過中に有症状となった場合には、症状が出た日の翌日1日目として、10日間の療養かつ、症状軽快72時間後に療養解除。

#### 【施設の医師、嘱託医、主治医等をお願いしたいこと】

##### 1 利用者・職員等が濃厚接触者になる場合

- PCR検査又は抗原検査による集団検査、陽性判明後の発生届提出および処方等
- 症状出現時の再検査、陽性判明後の発生届提出および処方等
- 健康観察期間中に要請があった際の往診による医療処置（カテーテル交換，尿フォーレ交換，褥瘡処置等）及び薬剤処方

##### 2 陽性者が施設療養する場合

- 新型コロナウイルス感染症への治療（抗ウイルス薬処方、酸素投与、補液など）
- 発症時の重症度判断（施設内で医療支援が必要か否か、入院を要するか否）
- 療養期間中の訪問・往診による定期的な医療処置（カテーテル交換，尿フォーレ交換，褥瘡処置等）及び薬剤処方
- 状態悪化時の入院の必要性の判断、入院調整

##### 3 療養解除後の受療

他疾患等で治療・入院が必要な場合の受け入れ及び主治医との連携